

Governor's

ガバナー月信 *Monthly Letter*

2010.10.1

vol. **4**



国際ロータリー第**2690**地区（鳥取・島根・岡山）



撮影/小林和義 会員 西川緑道公園風景

CONTENTS

【印刷物】

- 2 ガバナーメッセージ
- 3 米山月間によせて
- 4~6 ガバナー公式訪問だより
- 6 第1回ガバナー補佐会報告
- 7 地区だより ① 新入会員ご紹介
大口寄付者
ベネファクター
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者メジャードナー
米山功労者
- 8 出席報告

続きはホームページから
PDF ファイル版をダウンロードできます。

【PDF】版のダウンロードはこちらから

http://www.rid2690.org/index.cgi?c=month_letter-1

- 9 地区だより ② クラブ寄付・個人寄付
- 10~ 特集 地区協議会



2010-2011年度 国際ロータリー会長
レイ・クリングスミス

2010-2011年度 ガバナー
小林完治

ガバナーメッセージ



職業奉仕月間に思うこと

ガバナー
小林 完治

今年の夏の平均気温は、岡山県が日本一であったとの報道がされましたが、8月上旬・公式訪問しました益田市でも、当日の気温は38℃ありました。

当に酷暑の夏もようやく峠を過ぎ、朝夕は少し凌ぎよい季節になりました。ロータリアンの皆様は如何お過ごしでしょうか。

お蔭様で公式訪問も、約8割を終えることができました。訪問させていただいた各クラブの誠意に、心から感謝申し上げます。

さて、10月は「職業奉仕月間」です。「職業奉仕」(Vocational service)はロータリーの「金看板」といわれ、ロータリアンにとって最も重要な「奉仕活動」です。しかし、「職業奉仕」の意味が分りにくいと言われます。

手続き要覧によると、「2) 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業及び専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていく。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。」とされています。かつて、専門職業種による無料相談などが「職業奉仕月間プログラム」として行われたこともありましたが、これは職業奉仕ではなく、むしろ職能活用による社会奉仕とされています。「職業奉仕とは、職業を通じて社会に奉仕することである」の文言は綱領 2) の不明確な日本語翻訳が、根深い混乱の原因となっていると思われまふ。英語の原文と比較して頂くと、違いが明らかです。この点も今、綱領を分かりやすい日本語の綱領にしようとして検討がなされる理由の一つかと思ひます。Vocation・天職とは両親から授かった「からだ」、育てられ、教育され、与えられた正職によって、世の為人の為に尽くすはたらきを意味します。ただ単に自分の利益追求や欲望を求めめるのではなく、世の中にお

役に立とうという大きな使命感につながるものです。

現在の社会は、非常に複雑で、多くの仕事や役割を分業して、社会は構成されています。そして、社会と専門家には相互に信頼関係が必要であり、それぞれの専門家は職業倫理を確立して、社会の要請に応えようとしています。成熟した社会は、豊かで安心できる社会と言われますが、現在の社会は不安定で、とても安心出来る社会とは言えません。逆に、病的とも言える位です。

RI職業奉仕委員会日本代表委員の廣畑富雄氏は、その著「ロータリーの心と原点」の中で2002-03年度RI会長ビチャイ・ラタクル氏の講演を紹介されていますが、その中で「人々は法的に許されているのであれば、何とか実現しようとしまふ。しかし、倫理的な水準、道徳的な見地から言えば、それでは正しくないこともあるのです。倫理的に高い水準を保つことが必要です。」と述べてられています。

ポール・ハリスは「ヒトは物質の虜なつてはいけな、特に金銭を重んじるのは愚かであり、ヒトは金銭を近づけると正常な判断を狂わせる」と論じ、精神的な価値を追求することにより職業の品位を高めることを強調しています。

ロータリアンはそれぞれの職業から選ばれた専門家であり、綱領、超我の奉仕、そして共通の価値観(理念)で結束しています。ロータリーは人生修行の場と言われますが、「職業奉仕」の目的はロータリアンをして常に「四つのテスト」を唱え、自ら「職業宣言」を高らかに宣言し、自ら「進んで参加し」、「自分づくりに精励」することによって自らの職業の品位を高めること、そして地域を「より住みよい、より働きやすい、安心して暮らせる」地域にする為のリーダーシップを発揮することです。

私たちは、これからも「四つのテスト」に掲げられた、誰にでも共通する職業倫理を実践し、職業奉仕の質を更に高めて行く努力をしようではありませんか。

米山月間によせて



米山月間に寄せて

米山記念奨学会 理事
森 嵩 正

われわれは今日、核戦争の危機・民族紛争・環境問題等々人類の生存にかかわる重大問題に直面している。二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国境を越えて地球レベルでこれらの問題に取り組みねばならない。そのような現状認識において、RI会長のテーマ「地球を育み、大陸をつなぐ」の内容を具体的に考えて実践への努力を重ねたいものである。

10月が米山月間であることはいうまでもない。米山記念奨学事業は、米山梅吉氏（1868～1946）の功績を記念して、東京RCが1952年米山奨学会制度を設置したことに始まる。この事業は、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的としている。月間にあたってこの奨学会制度の内容をあらためて学び、この「多地区合同奉仕活動」を育てていただきたいものである。留学生を受けている世話クラブ・カウンセラーのご苦労に対し紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

「ロータリーの友」誌に本年も「米山記念奨学事業の基礎知識」が掲載してあるが、「皆さんが知らず知らずのうちに蒔いた種は、世界で花を咲かせています。」

（同誌）という表現をここで十分吟味してみたいものである。

ご存知のことではあるが、昨年同誌に掲載の学友林佳慧さん（台湾）の特別寄稿の文章が印象に残っている。即ち、論語学而第一と重ね、三つの反省「他人の役に立つために一生懸命頑張ったかどうか」（以下略）、そして四つのテストの反省から「今日一日真実かどうか」（以下略）、これらのテストを通して自分の心の中を照らしたいということであった。

ロータリーの理念、奨学会の目的とするところ、平和への使徒等々さまざまな思いの錯綜する文章であった。

先般は学友を中心とする新世代クラブ「東京米山友愛RC」が誕生した。朗報である。

如上の活動の成果をご理解いただき、米山記念奨学会へのご理解とご協力をお願いするとともに、奨学会から届いた6月末の会計報告を次に記し、本稿を擲筆する。

普通寄付金	414,091,270円	（前年度比	2.43%減）
特別寄付金	912,868,819円	（前年度比	14.66%減）
全国の額			

「地域を育み、大陸をつなぐ」

今年度RI会長レイ・クリンギンスミス氏は、8月のメッセージに、RIテーマの「地域を育み、大陸をつなぐ」という言葉を選んだ理由として「ロータリーは、世界をより良い方向に変え続けるでしょう。」と、そして「その方法は単純です。私たちにとっての成功、私たちが成すべきことの総では、ロータリアンたちが情熱を傾け、ロータリアンたちが何かをするとき、もっとも得意な分野に私たちの

最善の努力を集中すること、それが『地域を育み、大陸をつなぐ Building Communities— Bridging Continents』ことなのです。」と述べられています。

「ロータリーの友」8月号 RI会長メッセージから

私たちロータリアンが、それぞれの天職としての職業を通じて「サービス」を行うことこそ、世界をより良い方向へ向けていく第一歩になるのだと思います。



ガバナー公式訪問だより

7/23 金

米子ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・三村随行幹事



まもなく創立60周年を迎えようとしている歴史あるクラブで、創立以来、「まちに緑を！」をテーマに植林事業を継続的に行っておられ、地域の環境保全にも多大な実績を残されています。

また、新制度であるロータリー財団『未来の夢計画』にも積極的に参加され、本年度も新地区補助金を活用した「日野川源流～森の再生プロジェクト(広葉樹の植林事業/水と環境問題)」の実施を予定されています。

クラブ内には医療関係者が25名以上もおられ、今回地区がVTTとして行う「CKD(慢性腎臓病)プロジェクト」に対する関心も高く、懇談会でも専門的な質問を多数頂きました。

このように伝統と歴史のあるクラブであると同時に、新しい制度・取組みへの理解度も高く、チャレンジ精神の旺盛な発展的なクラブとの印象を、玉井会長をはじめ会員の皆様方と一日過ごさせて頂き、強く感じました。

7/23 金

米子中央ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・三村随行幹事



創立18周年を迎えようとしている若いクラブにも関わらず、過去にガバナー補佐を2名も輩出された実績のある経験豊かなクラブです。

現在の会員数は女性会員1名を含む31名で、同好会も「ゴルフ」をはじめ、「囲碁」、「山歩き」等活発に活動されており、国頭会長を中心にまとまりのあるクラブであるとの印象を強く受けました。また、例会時の食事には「マイ箸」持参で毎回「カロリー」報告を行う等、クラブとしての「環境」・「健康」への配

慮が伺えました。

毎年開催される法律から冠婚葬祭まで対応する「一日無料相談会」は10年以上継続する事業で、米子市民にもすっかり定着してきた奉仕活動とのことです。

本年度は純増3名を目標に「会員増強」を最重要課題に、また次年度と連携した「今後のビジョン策定」にも取り組みたいと、チャレンジ精神旺盛な姿が印象的でした。今後の地域のモデルとなるような成果を期待しております。

7/27 火

出雲ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・本徳随行幹事



出雲ロータリークラブは、1954年に30名でスタートされ、遠藤、原、両ガバナーを輩出、現在会員数55名の、歴史と伝統と格式のある名門クラブで、高根県内4クラブと三極提携(日本、アラスカ、ナホトカ)によるナホトカRCのスポンサーです。

「互いを思いやる温かい心の結束」を念頭に、「直近会長会議」を開催し中長期的な展望から中長期年度の事業の継承や方針等を定められたそうです。

クラブの特徴(奉仕・親睦・多様性・高潔性・

リーダーシップ)を活かし、奉仕プロジェクトでは「水と環境問題」に取り組み、国際奉仕活動では使用済切手の収集により海外医療に45年間貢献し、「出雲市中学校野球大会」を支援する青少年の健全育成を14年間継続され、インターアクト・クラブ(出雲西高等学校)の奉仕活動は年間80日と秀でています。ロータリー財団、米山奨学会ともに大変優秀な成績で、今年度はRI 会長賞が目標とのことで、全ての活動のバランスが良く、会員の奉仕レベルが非常に高い、地域で模範となる大変信頼と尊敬のできるクラブでした。

7/28 水

松江ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・三村随行幹事



まもなく創立60周年を迎えようとしている伝統あるクラブです。また、会員の若返りにもチャレンジされており、現在の会員の平均年齢が59.3歳と歴史あるクラブとしては特筆できる若さであるにもかかわらず、さらに若い会員の増強を本年度も重点目標として取り組まれている中村会長の積極的な姿勢には驚きました。

次年度の新地区補助金の利用も計画中であり、さらに松江4クラブ間で定期的に会長・

幹事会や合同例会・奉仕プロジェクトを実施するなど、地域クラブ間の連携・親睦にも積極的な取り組みを行われています。

今回の訪問で、伝統と歴史のあるクラブであると同時に、地域クラブ間の連携や新制度・取組みへの理解度も高く、「伝統」と「革新」をバランスよく融合する柔軟性のあるクラブとの印象を強く感じました。

ガバナー公式訪問だより

7/29 木

倉敷ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・末吉随員幹事



倉敷ロータリークラブは60年という伝統と品格を感じるクラブで、これまでに5つのクラブのスポンサーをされています。また最近の出席率（メイクアップ後）も90%台後半と非常に高い出席率であり、会員の参加意識も大変高いクラブでした。内田会長は最近大きく変革する制度にも取り組まれていました。今年の方針として、創立60周年に当たり地域社会に記念事業で貢献し、海外（ベトナム）

へのトイレ、浄化槽の設置の推進、新地区補助金制度を利用しての海外への奉仕活動にチャレンジされ、ロータリーカード100%加入にも努められていました。会員増強、特に若い会員の獲得に向けて、JCのOBの方にその役割を担ってもらい、増強に努められており、当年度は3名の増員を目標とされていました。和やかな中にもエネルギーが感じられるクラブで、RI会長賞も視野に入れることができるクラブだと感じました。

7/30 金

倉敷南ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・河合随員幹事



創立50周年の伝統と風格が感じられました。今年度はクラブ方針を「たのしもう、わかちあおう」とし、1. 充実した例会、2. 創立50周年事業の成功、3. 四奉仕活動と委員会の活発化（RI会長賞獲得に挑戦）、4. 未来の夢計画への対応、5. 会員増強に努められていました。区域に大企業が多いため、訪問日にも4名の入会があり、今年度も既に9名の増員がなされており、今後もさらなる増強を目指されています。50周年記念事業である小学

生の「水島コンビナート環境体験ツアー」は、会員の職場に対する地域の人々の理解に繋がるものであり、また、子供たちにも夢や希望を与える素晴らしい活動であると思われました。また、永年に亘り水島図書館に色々と奉仕が続けられていることにも敬服しました。ロータリー財団米山奨学生への寄付も地域内トップクラスが続けられています。充実したクラブ運営と例会に感激しました。

8/2 月

岡山西ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・太田随員幹事



昭和36年に岡山RC及び岡山南RCのスポンサーによりその歴史と伝統が築かれて半世紀、本年度は創立50周年という節目を迎え、伝統を重視しながら新しきにチャレンジするエネルギーと自由を尊重する風土とクラブの意識の高さが伺え、非常に勉強になりました。

国際交流につきましては、台南RCと友好関係を結び40年の長きにわたり、たゆみなく盛

んに交流を続けられており、喜ばしい事と拝聴しました。

青少年育成に対して、インターアクト、ロータリーアクトを両立させての活動にたゆまぬ努力に感服すると共に五藤会長のリーダーシップ躍如たるものを感じた次第です。

8/4 水

江津ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・芝田随員幹事



会員相互の結束力を高め、明るく、楽しく、話し合えるクラブ運営に努めておられる江津RCに訪問させていただきました。

クラブの創立は1965年で、今年で45周年を迎えられます。江津RCは、地場産業である瓦産業が、リーマンショック後の壊滅的な衰退で町全体が苦しむ中、必死に前向きに努力されている姿が印象的でありました。

会員数は最多のとき56名でありましたが、現在は26名と大幅な減少をみております。し

かしながら、小中学生を対象に取り組んでいるロータリー三賞の「社会善行賞」「スポーツ賞」「文化科学賞」を継続事業とし、また、新地区補助金では、「自然環境学習の為の鮭の放流事業」の実施も計画され、地元のコミュニティーと深く結びついていると感じました。

ここ江津の土地柄に合った、ここでしかできないロータリー活動を、ビジョンを持ちながらクラブ一丸となって今後益々推進されますよう祈念いたしております。



ガバナー公式訪問だより

8/5 木

浜田ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・浅野随行幹事



過去に榎山、松田のお二人のガバナーを輩出され、また、今年度創立50周年という節目の年を迎えられ、クラブには歴史と風格、重みを感じられました。

創立50周年を記念して、浜田市長がクラブのメンバーということもあり、浜田市役所に「浜田市民憲章碑」の建立寄贈をしております。行政のニーズを把握しながら奉仕活動を実践されています。

本年度基本方針の一つとして「高校生への

奨学基金事業を軌道に乗せよう」という事業があります。これは、将来に花ひらく青少年に力を注ぎ、今春から高校生3名に月額一万円の奨学金を支給し、かつ三千万円の基金目標掲げ、現在進行中とのことです。この目標によって、個人の寄付意識が高まっています。

益田RC、益田西RC等、近隣ロータリークラブとの合同事業にも、積極的に取り組まれています。「すすんで参加しよう。」を実践しているクラブと感じました。

8/6 金

益田ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・浅野・芝田随行幹事



益田RCは、今年度、創立50周年をお迎える、鳥根県西部の歴史あるクラブ。会員は26名と創立時からは減少の傾向がありますが、最近では、出席率100パーセントが続いているとのことで、当日も100パーセントでありました。

ロータリーを深く理解している方々の集まりであるような風格を感じました。

当クラブは、創立当初から青少年の健全育成を目指した取り組みを進めて来て、殊にイ

ンターアクトクラブに対する奉仕活動は、地区内においてもリーダー的な存在であります。クラブ内における交流は基より、会員が毎月学校例会に出席するなどして、顧問教諭とも密にコミュニケーションを図るなどは、特筆すべきことであります。

今後とも各事業の活発な取り組みを継続されると共に、会員の増強の目標が達成されることを祈念いたしております。

8/6 金

益田西ロータリークラブ

訪問者：小林ガバナー・浅野随行幹事



益田西RCは、益田RCをスポンサークラブとして創立され、33年の歴史があります。次年度は、ガバナー補佐として、須山氏の選任が内定しているとのことであります。今年度の佐々木会長は51歳と若い会長で、32名の現会員の平均年齢も60歳とこれまた若く、クラブのすべてが若々しく、活気に満ちていると感じました。当日の出席率は100パーセントでした。今年度は社会奉仕活動として音楽に

より、命の大切さを伝えようと「いのちを考えるコンサート」を計画されております。地域と密接に繋がった、その地域であればこそ出来る特殊性を活かしていくことが有効ではないでしょうか。「海の清掃」などに取り組まれた実績もあり、まさに目標とされている市民に対し、ロータリーを知ってもらうことにもなると思われました。

目標の実現を心から祈念いたしております。

第1回ガバナー補佐会報告

地区庶務幹事 楠本俊憲

2010年9月5日（土）、岡山市・岡山プラザホテルにて、本年度第1回ガバナー補佐会が開催されました。

報告・協議事項は下記の通りでした。

《報告・協議事項》

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1) RI会長代理 小沢一彦 氏に決定 2) 地区大会について 3) 地区大会各種委員名簿について 4) 2011-12年度ガバナー補佐の推薦結果について 5) 職業研修チーム (VTT) について 6) 会員増強・R財団合同セミナーについて | <ol style="list-style-type: none"> 7) IMについて 8) ロータリー・パキスタン洪水復興基金について 9) 2010-2011年度 地区委員会組織図について 10) 青少年交換派遣学生募集について 11) 今後の行事予定について 12) ロータリーカードについて 13) その他 |
|--|---|

地区だより(2010年8月)①

● 新会員ご紹介



● ロータリー財団への寄付

大口寄付者



西嶋克巳
(岡山北RC)

ベネファクター



玉井嗣彦
(米子RC)



小野 隆
(岡山中央RC)

※この他のクラブ寄付・個人寄付については、PDF版をごらんください。

ポール・ハリス・フェロー



● 米山記念奨学会への寄付

米山功労者メジャードナー



伊藤文利
(倉吉RC)

米 山 功 労 者



※この他のクラブ寄付・個人寄付については、PDF版をごらんください。

出席報告(2010年8月)

クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会 員 数			
				7月1日	8月末	内女性 会 員	増減
智 頭	69.45	80.55	3	15	14	0	-1
倉 吉	76.95	93.67	5	55	57	2	2
倉吉中央	61.96	84.78	4	21	23	1	2
倉吉東	65.31	96.96	3	43	45	2	2
鳥 取	78.13	100.00	3	57	58	2	1
鳥取中央	78.26	82.60	5	46	46	0	0
鳥取北	80.93	88.72	5	54	55	7	1
鳥取西	79.76	89.88	3	57	57	0	0
計(8)	73.84	89.65	/	348	355	14	7
境 港	64.54	73.84	4	44	44	0	0
米 子	67.84	86.73	3	67	68	2	1
米子中央	71.88	83.33	3	31	32	1	1
米子東	66.37	74.11	4	74	75	4	1
米子南	80.85	93.09	4	50	50	1	0
計(5)	70.30	82.22	/	266	269	8	3
松 江	69.96	89.79	4	69	71	0	2
松江東	78.58	91.26	3	58	58	0	0
松江南	82.13	88.83	4	69	70	4	1
松江しんじ湖	76.60	94.75	5	60	62	9	2
隠岐西郷	70.34	82.75	5	30	30	0	0
計(5)	75.52	89.48	/	286	291	13	5
平 田	79.17	85.15	3	37	38	1	1
出 雲	73.11	76.89	4	53	55	1	2
出雲中央	78.65	85.94	4	48	48	3	0
出雲南	78.16	98.28	3	59	59	6	0
大 社	77.45	85.29	3	43	42	0	-1
計(5)	77.31	86.31	/	240	242	11	2
江 津	69.23	73.08	3	26	26	0	0
浜 田	74.01	86.69	3	55	55	0	0
益 田	78.21	96.15	3	26	26	4	0
益田西	70.31	88.28	4	32	32	1	0
大 田	84.62	96.30	3	27	27	3	0
計(5)	75.28	88.10	/	166	166	8	0
井 原	70.77	82.29	3	45	45	1	0
笠 岡	90.07	95.40	4	50	51	0	1
笠岡東	81.08	88.29	3	37	37	1	0
新 見	83.33	90.74	3	18	18	2	0
総 社	73.09	78.96	3	42	42	6	0
総社吉備路	87.14	95.00	4	36	36	3	0
高 梁	78.81	89.77	3	44	44	3	0
玉 島	86.21	88.79	4	29	30	1	1
計(8)	81.31	88.66	/	301	303	17	2

クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会 員 数			
				7月1日	8月末	内女性 会 員	増減
児 島	65.26	78.82	4	30	30	0	0
児島東	85.00	91.00	4	26	26	0	0
倉 敷	81.78	99.56	3	78	79	0	1
倉敷中央	73.68	76.32	4	19	19	3	0
倉敷東	85.37	91.46	4	43	43	3	0
倉敷南	62.36	98.48	3	56	67	5	11
倉敷水島	61.51	75.56	3	34	34	0	0
倉敷瀬戸内	75.87	91.22	4	37	37	2	0
計(8)	73.85	87.80	/	323	335	13	12
真 庭	83.36	91.26	4	36	35	0	-1
美 作	91.04	91.15	4	38	38	1	0
津 山	70.54	85.27	3	87	88	3	1
津山中央	77.33	77.33	3	26	26	2	0
津山西	80.50	92.37	3	34	34	4	0
計(5)	80.55	87.48	/	221	221	10	0
赤 磐	76.47	86.76	4	20	20	0	0
備 前	74.06	85.00	3	40	40	2	0
岡 山	68.85	84.55	4	111	114	0	3
岡山東	82.37	89.50	3	84	85	0	1
岡山北西	83.09	88.72	4	47	49	4	2
岡山後楽園	80.77	85.90	3	50	52	0	2
計(6)	77.60	86.74	/	352	360	6	8
岡山旭川	73.33	84.17	4	30	30	3	0
岡山中央	72.34	86.89	3	44	45	5	1
岡山北	69.91	76.39	4	53	54	0	1
岡山南	68.37	78.47	5	150	155	12	5
玉 野	69.70	87.88	3	33	33	0	0
牛 窓	71.88	71.88	4	8	8	0	0
計(6)	70.92	80.95	/	318	325	20	7
岡山備南	74.16	76.44	4	35	35	4	0
岡 山 城	87.66	97.95	3	31	33	5	2
岡山岡南	79.13	81.74	4	26	29	2	3
岡山丸の内	78.79	87.21	4	33	34	3	1
岡 山 西	72.46	85.50	5	77	77	4	0
岡山西南	83.89	90.24	3	69	71	2	2
計(6)	79.35	86.51	/	271	279	20	8

地区クラブ内の状況

クラブ数	67RC	
7月1日現在会員数	3,092名	
8月末日会員数	3,146名	
内 女性会員数	140名	
純増	54名	
8月出席率	Make-up後	76.03%
	ホームクラブ	86.89%

国際ロータリー 第2690地区
2010-2011年度
地区スローガン



国際ロータリー第2690地区 2010-2011年度 ガバナー
小林 完治

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館2F
TEL.086-221-2690 FAX.086-221-2691
E-mail : kobayashi2690@mild.ocn.ne.jp